

令和元年度活動報告書

特定非営利活動法人 そらしど

1. 活動の概要

今年度は、2つの軸で活動を進めてきました。

1つは、昨年度に行った公益財団法人社会福祉弘済会様からの助成金により、医療的ケアが必要な子どもをもつ家族の生活全般に関するヒアリング調査研究と3月9日に行った報告会についてまとめたものを冊子にし、それを元にいくつか学会の一般演題の発表をしました。

もう1つは、発達障害体験講座「そらしどキャラバン隊」です。神戸市のプロボノ事業のソーシャルブリッジに応募し、チームそらしどの皆様にご協力いただいて、キャラバン隊の広報資料を作成することができました。講座も4回実施することができました。

また、一般社団法人兵庫県助産師会様の推薦をいただき、第28回コープこうべ虹の賞奨励賞をいただきました。これを励みにさらに精進して参ります。



2. 各活動の詳細

① 医療的ケアが必要な子どもをもつ家族の生活全般に関するヒアリング調査研究その後

昨年度行った調査と報告会についてまとめたものを冊子にしました。慣れない作業で大変時間がかかりましたが、アンケートに協力してくださった方に読んでいただいた後に「(前略)母のむき出しの思いを汲んでくださった内容にまた涙がこぼれました。つらかったのは、私だけじゃなかったし、みんな同じように、もがきながらもなにかを掴んでいく姿が見え、私もまたがんばろう〜と勇気をいただきました。」という感想をいただいて、苦勞が報われたような気持ちになり、胸がいっぱいになりました。この冊子を元に、神戸市看護学会学術集会和公衆衛生協会中央研究会にて、一般演題として発表をさせていただきました。新型コロナの影響で、3月に予定されていた近畿周産期精神保健研究会での演題発表は中止になりました。しかし、今後もこの冊子や私たちが知ったことを大切に多くの人に引き続きお届けしなければいけないと思っています。

② 発達障害体験出張講座「そらしどキャラバン隊」

コープこうべ様と児童館の共催で、北区で2回、垂水区で1回呼んでいただき、例年に引き続き神戸親和女子大学でも授業の中でさせていただくこともでき、合計4回実施することができました。垂水区での募集はコープのホームページからだったのですが、募集開始から2日で定員40名に達し、広報の仕方がよかったのもあると思うのですが、多くの方が興味を持ってくださっていることがわ

かりました。3月に予定していた三木でのご依頼は、新型コロナの影響で開催日は未定ですが、延期になりました。まさにこれからどんどん進めていこうという時に、新型コロナの影響により、活動が停止してしまいました。この状況の中で何ができるかをさらに検討していこうと思っています。



③ 保護者と支援者が元気になるワークショップ事業について

6月13日 医療的ケアに関する座談会 7月18日 そらしど進路座談会

8月3日 親子で音浴（シンギングボウル）&紙芝居～頭の中の絵のお話～

9月23日 医療的ケア児と家族と支援者交流会～みんなで「今」を語っちゃおう！～

10月11日 パステル和～Nagomi～アートワークショップ

を開催し、のべ47名の親子や支援者の方が参加してくださいました。

3月12日 パステル和～Nagomi～アートワークショップ 3月16日 そらしど進学座談会
を予定していましたが、新型コロナの影響で中止になりました。

代わりに急遽3月31日にZOOM座談会を開催し、7名がオンラインでつながり顔を見ながらお話できました。



3. 事業実施体制

1) 会議・研修等に関する事項

理事会：2回 定例会議：10回 医療的ケア会議：5回 医療的ケア演題発表2回
ソーシャルブリッジ8回 勉強会・講演会参加3回 施設見学2回

2) 会員（令和元年度）

正会員：16名 賛助会員：21名